

みやぎ環境教育支援プログラム活用講座事業 実施要領

1 趣旨

地域の資源を生かした環境教育体験活動を通じ、環境問題に対し、自ら考え、理解し、解決する能力を身につけた人材を育成するため、県内の小学校において、主に学校外で開催する環境教育支援プログラムを実施するもの。

2 実施対象

県内の小学校とする。

3 実施回数

原則として年間2校程度で、1回ずつ実施するものとする。

4 講座内容

主にNPO等の団体が実施している環境教育に資する体験プログラムをまとめた「みやぎ環境教育支援プログラム集」に掲載されているプログラム（以下「プログラム」という。）とする。

5 会場

各プログラムに掲載している場所で行う。

6 申込方法

実施希望校は、利用申込書（様式第1号）により、別途定める期日までに環境政策課に申し込むものとする。

7 実施決定

県は実施申込があった場合は、プログラムの実施団体に確認した上、実施の可否を決定し、実施希望校に文書で通知するものとする。

8 実施結果報告

プログラムを実施した小学校は、プログラム終了後14日以内に、実施結果報告書（様式第2号）を環境政策課に提出するものとする。

9 プログラム実施経費

本プログラムを実施するための経費は以下のとおりとする。

経費区分	内容
謝金	1 プログラム実施時 ・プログラムの主たる実施者 8千円/時間 ・プログラムの補助者 900円/時間 2 プログラム準備時 ・プログラムの主たる実施者 4千円/時間 ・プログラムの補助者 なし
旅費	プログラムの実施者等の交通費 (職員等の旅費支給規則(宮城県規則第75号)を準用した額)
使用料	児童・教員等がプログラムに参加するための交通手段の借上げ等に要する費用 例) 貸切バス使用料(高速道路使用料を含む)
各種保険料	事業を実施するために必要な各種保険料 例) レクリエーション保険等

附 則

- 1 この要領は、令和6年3月1日から施行し、令和6年度予算に係る当該事業に適用する。
- 2 この要領は、次年度以降の各年度において、当該事業に係る予算が成立した場合に、当該事業に適用するものとする。

年度 みやぎ環境教育支援プログラム活用講座 利用申込書

年 月 日

以下のとおり、利用を申し込みます。

学校名
住 所
校長名

担当者 職・氏名

TEL

FAX

E-mail

1 プログラム利用計画等

利用するプログラム名称	
実 施 希 望 日	第1希望 年 月 日() 時 分～ 時 分 第2希望 年 月 日() 時 分～ 時 分
実 施 予 定 場 所	
プログラムを利用する 目的・要望等	1 プログラムを利用する目的 2 その他補足すべき事項
受 講 予 定 人 数	学年 人

年度みやぎ環境教育支援プログラム活用講座 実績報告書

年 月 日

学 校 名
住 所
担当者氏名

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1 プログラム実施の実績

利用したプログラム名称	
実 施 年 月 日	年 月 日 () 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分
実 施 場 所	
参 加 人 数	学年 名

※講座終了後、14日以内に報告願います。

※講座の写真等がありましたら、参考までに添付願います。

-----〈担当者アンケート〉-----

Q1 今回の環境教育プログラムは、あなたの満足いくものでしたか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 大変満足した（具体的に：)
2. やや満足した（具体的に：)
3. やや不満だった（具体的に：)
4. 大変不満だった（具体的に：)

Q2 あなたは、今回の環境教育プログラムを何の時間で利用しましたか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 「総合的な学習の時間」の授業	9. その他の授業
2. 「理科」の授業	(具体的に：)
3. 「社会」の授業	10. 生徒会、委員会活動、クラブ活動
4. 「国語」の授業	11. 各種イベント
5. 「生活科」の授業	(具体的に：)
6. 「家庭科」の授業	
7. 「保健」の授業	
8. 「道徳」の授業	
* 2～7に○をつけた場合、環境教育プログラムと関連付けた教科書の小単元名を下記に記入してください。	
小単元名【	】

